城西中学校
第２学年だより

Challenge

2026.11.5

日	曜	行　事　予　定	給
1	日		
2	月	普通救急救命講習	○
3	火	文化の日	
4	水	⑥金６　硬筆技能検定 ４５分授業	○
5	木	南海トラフ大地震 津波避難一斉訓練 校内除草作業	○
6	金	漢字検定　㊺	○
7	土		
8	日		
9	月	校内除草作業⑤水５⑥水６	○
10	火		○
11	水	⑤月５　⑥なし	○
12	木	県・市合同訪問	○
13	金	⑥なし　放課後数学検定	○
14	土		
15	日		
16	月	⑤⑥生徒会役員改選	○
17	火		○
18	水	１３時一斉下校 午後生徒臨休 （市ブロック別人権教育研究大会のため）	○
19	木		○
20	金	学校安全の日	○
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	月曜日課	○
25	水	期末テスト１日目 （技家・理科・社会）	○
26	木	期末テスト２日目 （国語・美術・英語）	○
27	金	期末テスト３日目 （音楽・保体・数学） 生徒会専門委員会	○
28	土		
29	日		
30	月	⑥火６	○

12月の行事予定

４（金）修学旅行事前指導
（１０：３０頃放課）
５（土）～７（月）修学旅行
８（火）９（水）代休
１０（木）～１８（金）三者面談
※２年生は１１（金）～三者面談
２３（金）終業式

平和学習②

夏休み前から、新聞や映像資料などを使い平和学習を積み重ねてきました。いよいよ修学旅行まで後１ヵ月です。長崎を訪れた際には、原爆資料館や平和公園の見学、長崎市内の研修と事前に学んだ知識を結びつけ、さらに理解を深めてほしいと思います。平和な毎日があたりまえではないことを心に刻み、思いやりのある言葉がけや行動を心がけてください。

【みなさんの学びの記録より】

★被爆した人は本当は思い出したくないし、被爆しなければどんな人生を歩めていたんだろうと今もとりかえしのつかないほどの心の傷を負っている。どうすれば争いをなくすことができるか、私は考え続ける義務があると強く感じました。

★戦争があった事実をきちんと学び、他人事にしないことが大事だと思う。戦争を体験した方が少なくなっている中で、私たちも含め、知っている人が後世に伝えなければいけないと思った。

★原爆が投下される数秒前まで確かにそこに生きていた学生達が目の前に浮かんでくるようでした。動員されていた場所から自分の家に帰ろうと無理矢理にでも体を動かしたその学生達の気持ちははかりしれません。今私たちがあたりまえのように学校に通い、友人と笑い合い、お互いに将来の夢を語り合えることはあたりまえのことではないのだとよく分かりました。

★今ある命を無駄にせず、胸を張って生きたい。徳島大空襲・・・苦しい生活の中でも必死に生き抜き、命を繋いでくれたひいおばあちゃんに「生きていてよかった。」そう思ってもらえるように。ずっと苦しんできたからこそ、その苦しみをうめられるぐらいの幸せをあげたい。

★沖縄戦の学習では、それぞれのガマでの話と学徒隊の話などを学んだ。当時の話の中で、何が正しくて間違っているのかは正直分からない。でも、本当に苦しくて、くやしくて、どうにかできたのではないかな？とかずっともやもやしていました。つい苦しくて目を背けてしまいそうになるけれど、事実をちゃんと受け止め、記憶することが大切だと思いました。

★戦争では、人の命が鳥の羽より軽く、人権なんてどこにもないことがよく分かった。平和とは何か、今の自分にできることは何か分からないけど、とにかく自分の周りの人が悲しい思いをする世の中にしてはいけないと思った。

★戦争経験者の方々は少なくなっています。戦時中の経験、被爆体験談を直接聞くことのできる最後の世代として、戦争について知り、それを次の世代に受け継いでいく必要があると思います。

保護者のみなさまへ

・読み聞かせボランティアメンバー募集のご案内

毎週金曜日の朝（８時５分～１５分）、３年生と支援学級で読み聞かせをしてくださっている「ピーターパン」のボランティア活動は、２４年間続く、子どもたちの心を育む活動です。

現在、ご都合のつく範囲でこの活動を支えてくださる保護者の方を募集しています。興味のある方は、学校までご連絡ください。

・先日は、修学旅行説明会にご参加いただきありがとうございました。有意義な修学旅行になるように学校でも準備を進めてまいります。ご家庭でも忘れ物がないよう早めのご準備をよろしくお願いいたします。